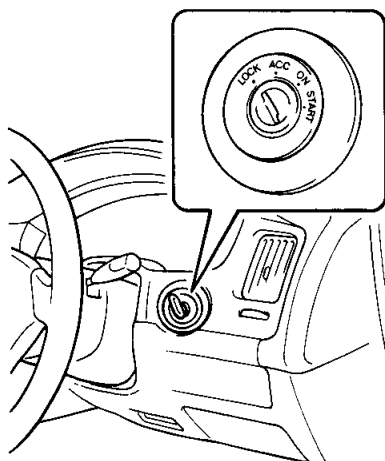


エンジンスイッチ	42
エンジンのかけ方	43
パーキング(駐車)ブレーキ	43
ホーン	43
マニュアルトランスミッション	44
オートマチックトランスミッション	45
ABS	48
SRSエアバッグ	49

## エンジンスイッチ

### 各位置の働き



**LOCK**  
(ロック)

キーを抜き差しできる位置。  
キーを抜くとハンドルがロックされます。

**ACC**  
(アクセサリ)

エンジン停止時、次のものが使用できます。  
オーディオ、シガレットライター、電動リモコンミラー

**ON**  
(オン)

エンジン回転中の位置。

**START**  
(スタート)

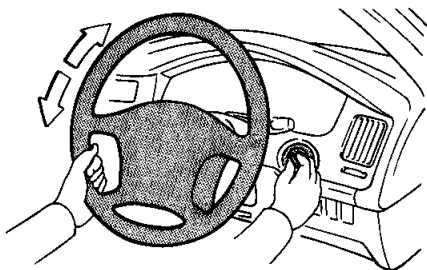
エンジンを始動する位置。



知識

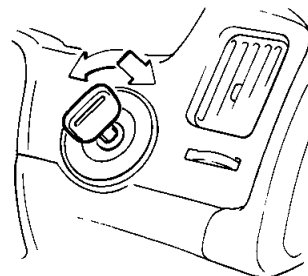
エンジン停止時はエンジンスイッチをONまたはACCのまま長時間放置すると、バッテリーあがりの原因となります。

### LOCKからACCに回すとき



キーが回りにくいときは、ハンドルを軽く左右に動かしながらキーを回します。

### ACCからLOCKに回すとき

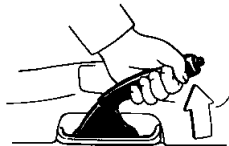


キーを押しながら回します。  
オートマチック車は、チェンジレバーが①の位置にないと回せません。

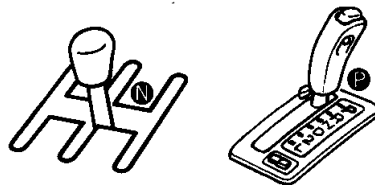
## エンジンのかけ方

エンジンをかける前に

- ① パーキング(駐車)ブレーキをかけます。



- ② チェンジレバーを、マニュアル車はN、オートマチック車はPにします。



## エンジンのかけ方

- ① エンジンスイッチをスタート位置に回しエンジンを始動します。

アクセルペダルを踏まずに行います。

- ② エンジンがかかったら、しばらく暖機運転をします。

暖機が終われば自動的にエンジン回転が下がります。

## パーキング(駐車)ブレーキ



注意

パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキ部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱し効が悪くなるおそれがあります。


### 駐車するときは

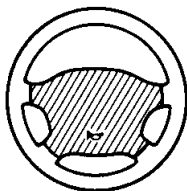
ボタンを押さずにレバーをいっぱいまで引きます。

### もどすときは

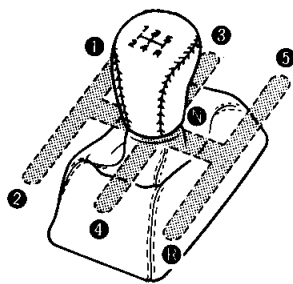
レバーを少し引き上げながらボタンを押さえて、もどします。

## ホーン

 周辺部を押します。



マニュアルトランスミッション



Ⓜにを入れるときは

⑤→Ⓜへは直接入れることができません。いったん④にしてからⓂへ入れます。

駐車するときは

パーキング(駐車)ブレーキをかけ、チェンジレバーを①(1速)またはⓂ(後退)の位置にします。



車両が動いているときはⓂにいれないでください。車が完全に止まってから操作しないとトランスミッションを損傷するおそれがあります。

(単位: km/h)

シフト位置	エンジン型式	
	3S-GTE	3S-GE
1速	45	50
2速	80	90
3速	120	130
4速	160	170

各シフト位置での速度限界

エンジンを過回転させないために、各シフト位置での速度が右表の数値をこえないようにしてください。

運転装置の使い方

オートマチックトランスミッション(シフトロックシステム付)

(14ページの「オートマチック車の正しい運転のしかた」もあわせてお読みください。)

名称と働き

**P** パーキング

駐車およびエンジン始動

車輪が固定されます。駐車の際は必ず①にしてください。

②でのみエンジンスイッチからキーが抜けます。

**R** リバース

後退

ブザーが鳴り③にあることを運転者に知らせます。

**N** ニュートラル

動力が伝わらない状態

④でもエンジンは始動できますが、安全のため⑤で行ってください。

**D** ドライブ

通常走行

スピードに応じてギヤが自動的に切り替わります。

**2** セカンド

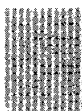
下り坂走行

エンジンブレーキが必要なときに使います。

**L** ロー

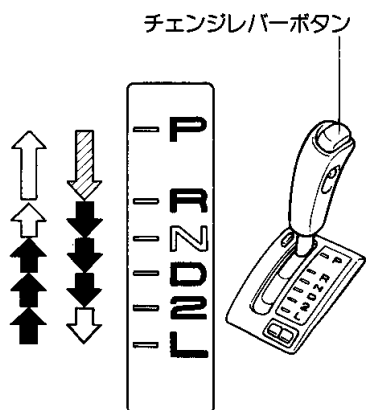
急な下り坂走行

強力なエンジンブレーキが必要なときに使います。



運転装置の使い方

チェンジレバーの動かし方



➡ は、チェンジレバーボタンを押さずに操作します。

➡ は、チェンジレバーボタンを押して操作します。

➡ は、ブレーキペダルを踏んだまま、チェンジレバーボタンを押して操作します。



➡の操作はレバーボタンを押さずに操作してください。いつもレバーボタンを押して操作していると意に反して⑥、⑦または⑧にいれてしまい、思わぬ事故の原因となり重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

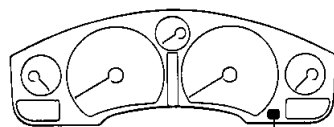


知識

● エンジンスイッチがACCまたはLOCKのときにブレーキペダルを踏んでも⑨からレバー操作できません。

● ⑨からレバー操作するときに、チェンジレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏むと操作できないことがあります。先にブレーキペダルを踏み操作してください。

オーバードライブ(O/D)スイッチ



運転装置の使い方

スイッチを押すごとにONとOFFに切り替わります。

通常走行

スイッチをONにします。

●の位置で走行中、一定速度以上で4速ギヤにはいり、燃費性能と静粛性を高めます。

坂道走行

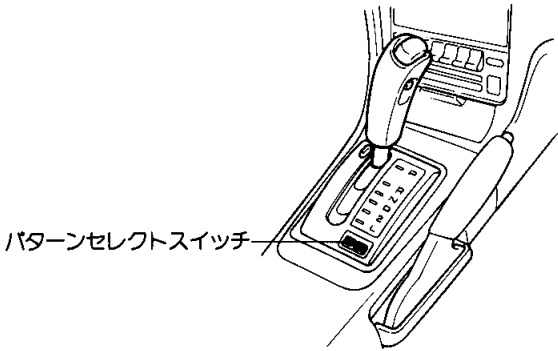
スイッチをOFFにします。

- 下り坂では軽いエンジンブレーキが得られます。
- 上り坂では変速回数の少ないなめらかな走行ができます。

	スイッチの状態	表示灯
ON		O/D OFF (消灯)
OFF		O/D OFF (点灯)

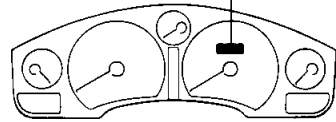
ECT-Sパターンセレクトスイッチ

走行・使用条件にあわせて、走行パターンを選択できます。



パターンセレクトスイッチ

ECT-Sパターン表示灯



運転装置の使い方

走行パターン	エコノミー	パワー	マニュアル
スイッチの状態			
パターン表示灯			
特長	<ul style="list-style-type: none"> <li>●燃費のよい経済的な走行に適します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パワフルな運転や山間地での運転などに適します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●②の位置にすると2速に固定され、雪道などすべりやすい路面での発進に適します。</li> <li>●●で発進し、②、①へと手動の操作で運転するのに適します。</li> <li>●市街地を①で走行中、ギヤの切り替わりが気になるときは、このパターンにするとギヤの切り替わる回数が少なくなります。</li> </ul>

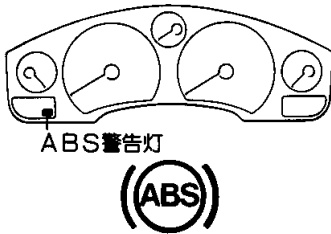
同一スイッチを再度押すと設定パターンは解除され、エコノミーパターンになります。

**アドバイス** 走行中（オーバードライブスイッチがONのとき）オーバードライブOFF表示灯が点滅したときは装置の異常が考えられますので、トヨタ販売店で点検を受けてください。

ABS

ABSは、急制動やすべりやすい路面での制動時におこる車輪のロックを自動的に防止することにより、車両の方向安定性や操舵性を確保しようとする装置です。

■ABS警告灯



- エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯すれば正常です。
- ABS警告灯が点灯しているときは、ABSは作動しませんが、通常のブレーキとしての性能は確保されています。



アドバイス

警告灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき、または点灯したままのとき
- 走行中に点灯したとき

なお、走行中に点灯しても、その後消灯し、再度点灯しなければ正常です。



知識

ABS警告灯が点灯しているときは、ABSが作動しないため、急制動やすべりやすい路面での制動時には車輪がロックすることがあります。



注意

- ABSを過信しないでください。ABSが作動した状態でも車両の方向安定性や操舵性の確保には限界があり、思わぬ事故につながるおそれがあります。常に安全運転に心がけてください。
- 次の場合などには、ABSのついていない車両に比べて制動距離が長くなることもあるため、とくに速度をひかえめにして車間距離を十分とってください。
  - ジャリ道、新雪路を走行しているとき
  - タイヤチェーンを装着しているとき
  - 道路の縫ぎ目などの段差を乗り越えるとき
  - 凸凹道や石だたみなどの悪路を走行しているとき

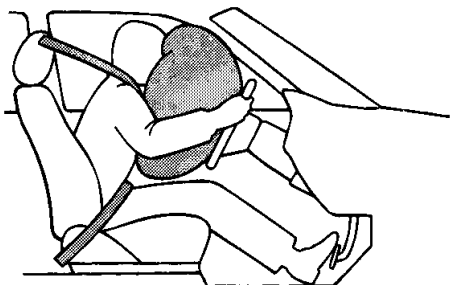


知識

- ブレーキペダルを踏んだとき、作動音とともにペダルが小刻みに動くことがあります。これはABSが正常に作動しているときの現象で異常ではありません。さらにブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- エンジン始動時や始動後の発進直後および走行中にフロントトランクからモーター音が聞こえることがあります。これはシステムの作動チェックおよび正常に作動しているときの音で異常ではありません。
- ABSは、発進後車速が約10km/hになるまで作動しません。また、車速が約5km/hまで下がると作動をやめます。

SRSエアバッグ

運転席 SRSエアバッグ



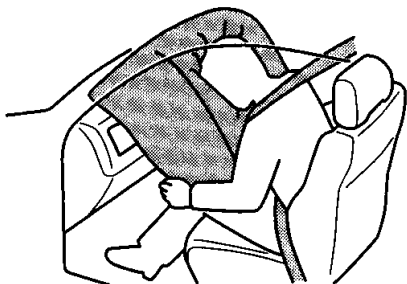
SRS\*エアバッグは、運転者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときにふくらみ、シートベルトが身体を拘束する働きとあわせて乗員の頭や胸などの上体に作用する衝撃力を分散、緩和させる機能を持ちます。

シートベルトは必ず着用してください。

(36ページ参照)

\* SRSはSupplemental Restraint Systemの略で、乗員保護補助装置の意味

助手席 SRSエアバッグ



助手席 SRSエアバッグは、乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときにふくらみ、シートベルトが身体を拘束する働きとあわせて乗員の頭や胸などの上体に作用する衝撃力を分散、緩和させる機能を持ちます。

助手席 SRSエアバッグは、助手席に人が乗っていてもふくらみます。

シートベルトは必ず着用してください。

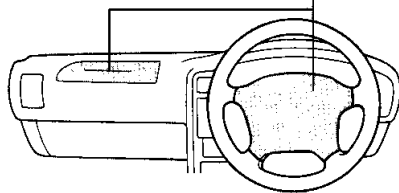
(36ページ参照)



注意

- 車や SRSエアバッグを廃棄するときには必ずトヨタ販売店にご相談ください。SRSエアバッグが思いがけなく作動し、けがをするおそれがあります。
- SRSエアバッグが収納されているパッド部に傷がついていたり、ひび割れがあるときはそのまま使用せずトヨタ販売店で交換してください。衝突したときなどに SRSエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。

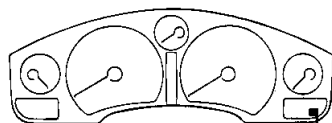
パッド部



アドバイス

SRSエアバッグは一度ふくらむと再使用できません。必ずトヨタ販売店で交換してください。

■ SRSエアバッグ警告灯



警告灯



エンジンスイッチをONまたはACCにすると点灯し、数秒後に消灯すれば正常です。



注意

警告灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。衝突したときなどに SRSエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。

- エンジンスイッチをONまたはACCにしても点灯しないとき。または点灯したままのとき。
- 走行中に点灯したとき。

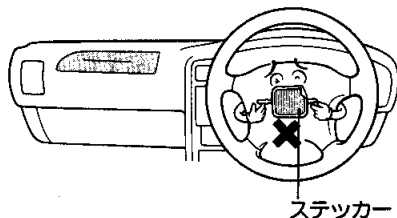
運転装置の使い方





- シートベルトを正しく着用してください。  
SRSエアバッグはシートベルトを補助する装置でシートベルトに代わるものではありません。シートベルトを正しく着用しないと、SRSエアバッグの効果を発揮させることができません。とくに助手席のかたがシートベルトを着用していないと、急ブレーキなどで前方に放り出されることがあり、その際に助手席SRSエアバッグがふくらむと、その強い衝撃で重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。シートベルトの着用については36ページを参照してください。
- シートを正しい位置に調整してください。シートを正しい位置に調整しないと、SRSエアバッグの効果を発揮させることができず、衝突したときなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。シートの調整については33ページを参照してください。
- 正しい姿勢でシートにすわってください。正しい姿勢ですわらないとSRSエアバッグの効果を発揮させることができません。また、運転席SRSエアバッグはハンドルに近づきすぎると、SRSエアバッグがふくらんだときに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。正しい姿勢については33ページを参照してください。
- パッド部をカバーやステッカーなどでおおわないでください。パッド部がおおわれていると、衝突したときなどにSRSエアバッグを正常に作動させることができず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。また、運転席SRSエアバッグのみ装着車は、パッド部を手で強くたたくななどの衝撃を与えないでください。パッド内には、SRSエアバッグユニットが組み込まれているため、誤ってふくらんだり、衝突などのとき正常に作動しなくなったりして、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

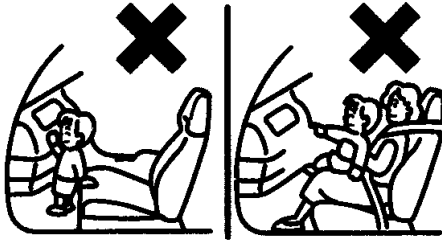
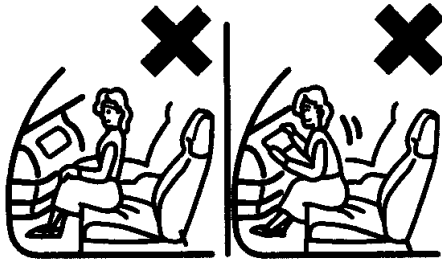
- SRSエアバッグがふくらんだあとに、SRSエアバッグ構成部品に触れないでください。SRSエアバッグがふくらんだあとは、構成部品が大変熱くなっていますので、やけどなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- SRSエアバッグの取り付け・取りはずし、分解などをしないでください。また、SRSエアバッグを修理するときは必ずトヨタ販売店で行ってください。SRSエアバッグを不適切にあつかうと、正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみ重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 次のことを必ずお守りください。守らないとSRSエアバッグが正常に作動しなくなったり誤作動につながり重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
  - サスペンションを改造しないでください。車高が変わったり、サスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
  - 車両前部にグリルガードやウインチなどを装着する場合は、トヨタ販売店にご相談ください。車両前部の改造をするとSRSエアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。
  - 車両前部を修理するときは必ずトヨタ販売店で行ってください。SRSエアバッグが作動するためのセンサーがついているため不適切な修理を行うと正常に作動しなくなります。
  - 無線機の電波などは、SRSエアバッグを作動させるコンピューターに悪影響を与えるおそれがありますので、無線機などを取りつけるときはトヨタ販売店にご相談ください。





●助手席SRSエアバッグは、必ず次の注意事項をお守りください。

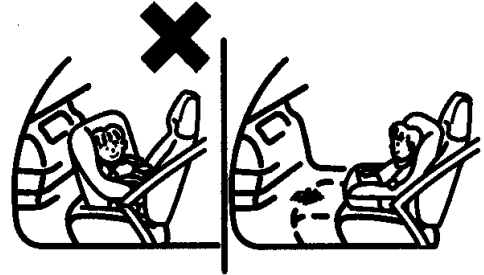
●シート前端にすわったり、インストルメントパネルにもたれかかったりしないでください。また、お子さまをSRSエアバッグの前に立たせたり、ひざの上にだいたりしないでください。助手席SRSエアバッグは瞬時に車室内に大きくふくらみますので、SRSエアバッグがふくらんだときの強い衝撃で重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



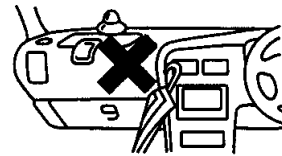
●シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまはチャイルドシート、ジュニアシートを使用してください。使用しない場合、SRSエアバッグがふくらんだときの強い衝撃で重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

●助手席にベビーシートを取りつけたり、チャイルドシートをうしろ向きに取りつけないでください。ベビーシート、チャイルドシートの背面が助手席SRSエアバッグに近づきすぎるため、SRSエアバッグがふくらんだときの強い衝撃で重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

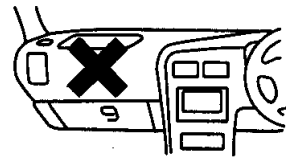
また、チャイルドシートやジュニアシートを取りつける場合には、SRSエアバッグから遠ざけるためにシートを一番うしろの位置にして、チャイルドシートは前向きに取りつけてください。



●インストルメントパネル上部に芳香剤など物を置いたり、傘などを立てかけたりステッカーなどでおおったりしないでください。SRSエアバッグがふくらんだときに飛ばされたり、SRSエアバッグが正常に作動しなくなったりして重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



●助手席SRSエアバッグ付近のインストルメントパネルを修理したり、取りはずしたりしないでください。修理したり、取りはずすときはトヨタ販売店で行ってください。SRSエアバッグの配線があるため不適切な修理などを行うと、SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみ重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。





知識

●衝突により車両前部が大きく変形しても、衝撃吸収ボデー構造\*により乗員への衝撃は大きくならない場合がありますので、車両の変形、損傷とSRSエアバックの作動とは必ずしも一致しません。

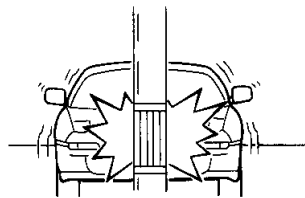
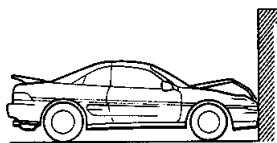
\*衝撃吸収ボデー構造は、衝突時の衝撃をボデーの前部を変形させることにより吸収します。

●SRSエアバックは強い前面衝突時において、シートベルトが身体を拘束する働きとあわせて乗員の頭や胸などの上部が受ける重大な傷害を軽減する装置です。したがってシートベルトを正しく着用している乗員が重大な傷害を受けるおそれのない衝突では、SRSエアバックは作動しにくくなります。

●SRSエアバックは衝突によりボデーが車両前方から強い衝撃を受けたときに作動します。例えば、次のようなボデーが受ける衝撃が弱い場合には、SRSエアバックは作動しません。

●衝突時に変形、移動しないコンクリートのような固い壁に約20km/h以下の速度で正面衝突したとき

●衝突時に変形、移動しない電柱や立木などに約30km/h以下の速度で正面衝突したとき

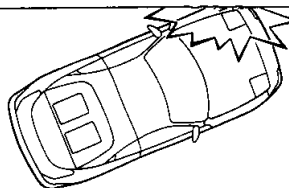
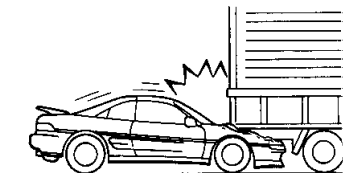


●衝突したものが変形したり移動した場合は、衝突による衝撃が緩められるため、SRSエアバックの作動する車速は高くなります。例えば、停車中の同程度の重さの車への衝突の場合には、約50km/h程度の速度であってもSRSエアバックは作動しないことがあります。

●次のような場合も衝突による衝撃が緩められるため、SRSエアバックが作動しないことがあります。

●トラックの荷台下へもぐりこみ衝突したとき

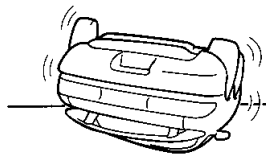
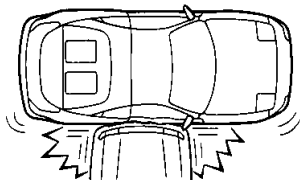
●前方の斜めの方向から衝撃を受けたとき



●次のような場合はSRSエアバックが作動する場合がありますが、本来の効果を発揮しません。

●側面や後方から衝撃を受けたとき

●車両が横転、転覆したとき



●SRSエアバックは非常に速いスピードでふくらむため、SRSエアバックとの接触により打撲やすり傷などが発生することもあります。

●SRSエアバックが作動すると作動音とともに白い煙のようなガスが発生しますが火災ではありません。また人体への影響もありません。

●一度作動したSRSエアバックは、2回目以降の衝突では再作動しません。